

船舶事故等調査報告書

平成22年6月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009神第218号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年7月11日 16時10分ごろ	
発生場所	兵庫県赤穂港沖 岡山県備前市鹿久井島所在の鵜石鼻灯台から真方位035°4,050m付近 (概位 北緯34°44.0′ 東経134°22.0′)	
事故等調査の経過	平成21年7月23日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	貨物船 ^{りゅうぐすみよし} 龍宮住吉丸、456トン	
船舶番号、船舶所有者等	136424、巴海運有限会社	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	船底に、長さ1m、幅40cm、深さ1.5cm及び長さ30cm、幅90cm、深さ1cmの凹損	
事故等の経過	本船は、船長ほか4人が乗り組み、赤穂港において千鳥岸壁へ向けて航行中、浅所（水深1.3m）に乗り揚げた。 喫水は、船首約1.6m、船尾約2.9mであった。 船長は、水深が明確に記載されている大縮尺の海図W111を備えていなかったため、適切な水路調査を行えなかった。	
気象・海象	気象：天気 快晴、風向 西南西、風力 2 海象：潮汐 下げ潮の中央期、潮高 約77cm	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、赤穂港において、千鳥岸壁に向けて航行中、適切な水路調査を行わなかったものと考えられる。 本船は、水深が明確に記載されている大縮尺の海図W111を備えていなかったものと考えられる。
原因	本事故は、本船が赤穂港において、千鳥岸壁へ向けて航行中、適切な水路調査を行わなかったため、浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	